

大阪府生活協同組合連合会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内
tel.06-6762-7220 fax.06-6762-7296
URL : <http://osaka-union.coop/>

会報

KAI-HOU

No.327
2017.3.15



2017年新年講演会

| | | |
|----------|--------------------------|----|
| [開催報告] | 2016年度 第5回理事会 | 1 |
| [開催報告] | 2017年新年講演会 | 6 |
| [開催報告] | 平成28年度大阪府消費生活協同組合優良役職員表彰 | 7 |
| [連載] | 「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて～」 | 9 |
| [スケジュール] | | 10 |

大阪府生協連 2016年度第5回理事会開催報告

開催概要

- I. 日時 2017年1月19日(木)
11時～12時12分
- II. 場所 天王寺都ホテル 5階信貴の間
- III. 出席者
(会長理事) 惣宇利
(副会長理事) 柴橋、藤井
(専務理事) 中村
(常任理事) 入船、江口、木田、北川(11時25分審議事項1より出席)、羽多野、森本
(理事) 今宮、大内、奥、勝山、篠原、清水、武田、長里、前川(11時33分審議事項5より出席)、松本、矢田部、渡邊
(監事) 谷川
以上、理事総数25名中22名出席、監事総数3名中1名出席
(欠席理事) 中谷、西村、洞井
(欠席監事) 関戸、吉川
- IV. 議長 惣宇利会長理事
- V. 議事の経過と要領との結果

定刻になり、惣宇利会長理事が議長として、理事総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣し議事を進行了た。

審議事項

1 第56回通常総会の件

小山事務局長より、第56回通常総会議案書の第1次案として、2016年度活動報告及び2017年度方針について、提案がされた。また会員概況の原稿執筆について、地域：勝山理事、医療：篠原理事、大学：入船常任理事、職域：今宮理事・洞井理事、共済：森本常任理事に依頼する旨提案がされた。

討議の結果、2016年度活動報告及び2017年度方針については、各役員の見解を集約し、次回第6回理事会にて第2次案として継続審議することとし、その他提案どおり全員異議なく承認された。

なお、江口常任理事、藤井副会長理事より「2017年度方針に関わる社会情勢等を記載した“はじめに”の文章表現」について意見が出された。

2 2017年度年間日程(第2次案)の件

小山事務局長より、2017年度年間日程について、第1・5・6回理事会の日程を変更した第2次案の提案がされた。この件については、各役員の見解を別途集約し、最終の年間日程を確認する旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

| | 2次案 | 1次案 |
|--------|---------------|---------------|
| 第1回理事会 | 2017年7月20日(木) | 2017年7月13日(木) |
| 第5回理事会 | 2018年3月22日(木) | 2018年3月15日(木) |
| 第6回理事会 | 2018年5月17日(木) | 2018年5月10日(木) |

3 特定非営利活動法人地球環境市民会議(CASA) 監事派遣要請の件

小山事務局長より、特定非営利活動法人地球環境市民会議(CASA)からの要請を受け、同団体の第17期通常総会(2017年6月)における役員改選の監事候補者として、現在CASAの監事をしている中村専務理事を引き続き推薦する旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

4 シンポジウム「地域で防ごう消費者被害 in 大阪」に関する要請の件

中村専務理事より、大阪弁護士会からの要請を受け、大阪弁護士会と日本弁護士連合会が主催するシンポジウム「地域で防ごう消費者被害 in 大阪」(3/25開催)に後援する旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

なお、藤井副会長理事より「不招請勧誘規制に関する地域生協の受け止め」について意見が出された。

5 新年講演会当日運営の件

小山事務局長より、新年講演会・懇親交流会について、司会を講演会：羽多野常任理事、懇親交流会：松本理事に要請する旨等、運営について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

大阪府生協連

1 分野別会議開催報告

以下の日程で分野別会議を開催し、各生協の2016年度事業経営の状況と2017年度の検討課題等について交流しました。

【開催日程順】

○職域・共済

[日 時] 2016年11月25日(金) 15時～17時
 [場 所] 大阪府社会福祉会館 5階502
 [出 席 者] 洞井・松田(学校生協)、橋下(日鉄住金大阪)、九星・平井(市民共済)、森本・中丸(全労済)、惣宇利・中村・小山(府連)
 4 / 4 会員・府連 計10名

○医療

[日 時] 2016年11月29日(火)
 14時30分～17時
 [場 所] 大阪府社会福祉会館 5階502
 [出 席 者] 奥(きづがわ)、羽多野(北大阪)、村谷(けいはん)、田崎(堺)、中谷(ヘルス)、間(羽曳野)、山本(ほくせつ)、権野(南大阪)、篠原(よどがわ)、惣宇利・中村・小山(府連)
 9 / 15 会員・府連 計12名

○大学

[日 時] 2016年12月13日(火) 14時～17時
 [場 所] 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス内 会議室
 [出 席 者] 下永(教育大)、今石(経済大)、後藤(樟蔭女子)、松本(電通大)、渡邊(府大)、江口(関大)、入船(近大)、菊浪(阪南大)、藤江(関西西北陸事業連)、惣宇利・中村・小山(府連)
 9 / 15 会員・府連 計12名

○地域

[日 時] 2016年12月21日(水)
 15時～17時
 [場 所] 大阪府社会福祉会館 5階502
 [出 席 者] 勝山(いずみ)、貫(よどがわ)、松下(パルコープ)、西村(自然派ピュア)、眞下(生活クラブ)、惣宇利・中村・小山(府連)
 5 / 10 会員・府連 計8名

日本生協連、他生協等

2 日本生協連全国方針検討集会参加報告

[日 時] 2017年1月10日(火)
 13時～11日(水) 12時
 [場 所] 都市センターホテル
 [出 席] 114生協・連合会・団体450人
 府連(惣宇利・中村)

【内 容】

<一日目>

- (1) 日本生協連会長挨拶
 会長 浅田 克己 氏
- (2) 基調報告1
 「2020年ビジョン第2期中期方針(2017～19年度)二次案」について
 日本生協連代表理事専務
 嶋田 裕之 氏
- (3) 基調報告2
 「2016年度まとめと2017年度事業計画2次案」
 コープ共済連代表理事専務
 荻原多加資 氏
- (3) 会場発言 14生協・事業連合
- (4) 全体会のまとめ
 日本生協連代表理事専務
 嶋田 裕之 氏

<二日目>

- (5) 分科会(第1:中村)

| | テーマ | パネリスト・報告テーマ |
|----|---|---|
| 第1 | (アクションプラン1) ふだんの暮らしへの役立ち | ワークショップ ファシリテーター: 岩木 啓子氏 |
| 第2 | (アクションプラン2) 地域社会づくりへの参加 (アクションプラン3) 世界と日本社会への貢献 | ワークショップ ファシリテーター: 青木 将幸氏 |
| 第3 | (アクションプラン4) 元気な組織と健全な経営づくり (アクションプラン5) さらなる連帯の推進と活動基盤の整理 | パネリストからの報告 ①～③ 「生協の未来を担う人材の確保と育成に向けて」 みやぎ生協、コープネット、エフコープ ④「全国生協・人づくり支援センター設立と機能について」 日本生協連 ⑤「コープネットの店舗事業の到達点と課題」 コープネット ⑥「事業経営の強化のために」 大阪いずみ市民生協 ⑦「第12次中期計画と店舗事業黒字までの経営構造改革について」 おかやまコープ |

3 消費者支援機構関西報告

- [日 時] 2016年12月12日(月)
16時～18時15分
- [場 所] 日本生協連関西地連 4階・会議室
- [出 席] 理事14／15名、監事0／2名、
検討委員会・事務局等4名
- [概 要]
- (1) KC'S受付情報対応；情報内容を確認した
 - (2) 欠陥住宅・リフォーム；この間の交渉結果について審議したが、1月の検討委員会及び理事会に再提案することを確認した。
 - (3) 家賃遅延損害金；「ご連絡」案について字句修正を行い執行することを確認した。
 - (4) 携帯抱き合わせ販売・大学通信教育；「再々お問い合わせ」案を字句の修正を行ない執行することを確認した。
 - (5) 一連のミスに関する消費者庁の指示への対応について
 - (6) 特定適格消費者団体としての認定申請関連

4 なにわの消費者団体連絡会報告

○12月度幹事会

- [日 時] 2016年12月21日(水)
13時30分～15時30分
- [場 所] KC'S事務所内会議室
- [出 席] 7団体
- [議 題]
- (1) 大阪府消費生活センターとの懇談会について振り返り
 - (2) 日本チェーンストア協会関西支部との懇談会振り返り
 - (3) 「なにわの風」33号記事内容について
 - (4) 平成28年度新年懇親会の件
 - (5) その他
 - ・各出席委員会報告

○1月度幹事会

- [日 時] 2017年1月18日(水)
10時30分～12時30分
- [場 所] 大阪府社会福祉会館 2階203
- [出 席] 7団体
- [議 題]
- (1) 平成29年度 調査・研究のテーマについて

- (2) 平成28年度地方消費者フォーラム in ひょうごについて
- (3) 平成28年度全国消費者フォーラム参加の件
- (4) その他
 - ・各出席委員会報告

5 全大阪消費者連絡会報告

○理事会

- [日 時] 2017年1月6日(金)
15時30分～18時
- [場 所] 消団連 会議室
- [概 要]

【報告事項】

- (1) 専門委員会の活動
 - ① 消費者委員会
 - ・2017年2月8日に「消費者被害防止の地域ネットワークをめざして」をテーマに学習会を開催する。
 - ② 食問題委員会
 - ・1／23開催予定の遺伝子組換え食品の表示問題の学習会が講師都合で中止となった。消費者庁に講師を依頼し2～3月で開催を検討する。
 - ③ 環境問題委員会
 - ・2／5に立命館の大島教授を講師に、福島原発の事故賠償費用、廃炉費用の問題に関する学習会を開催する。
 - ・資源エネルギー庁の「電力システム改革貫徹のための政策小委員会中間とりまとめ」に対するパブリックコメントに意見提出を検討する。関連した学習会を1／12に開催する。
- (2) 組織・財政の現状と対策
 - ・機関紙サイクルの現況と11月末会計報告がされた。

【協議事項】

- (1) 電力システム改革貫徹のための政策小委員会中間とりまとめ（案）に対するパブリックコメントについて
- (2) 機関紙の編集・拡大について
- (3) 2月度運営会議の運営について
- (4) 後援名義使用承認依頼について

6 第4回近畿圏府県生協連・ろうきん合同会議参加報告

- [日 時] 2016年12月26日(月) 14時～17時
- [場 所] 近畿ろうきん肥後橋ビル12階

理事会室

[出席] (敬称略)

【講師】

特定NPO日本災害救援ボランティアネットワーク 理事長 渥美 公秀 様

【ろうきん】

労働金庫協会経営企画部次長 赤堀 敏洋
 〃 営業企画部次長 鴨志田一貴
 近畿労働金庫 理事長 山下 博司
 〃 総合企画部部長 谷口 勝則
 〃 滋賀地区統括部部長 岩崎 芳久
 〃 奈良地区統括部部長 西田 恭志
 〃 〃 上席専任役 中西 俊雄
 〃 京都地区統括部部長 笠井 清史
 〃 〃 上席専任役 小松 純一
 〃 大阪地区統括部部長 西田 宣弘
 〃 〃 専任役 山口 潤
 〃 和歌山地区統括部部長 大濱 幸一
 〃 〃 上席専任役 藪上 和之
 〃 兵庫地区統括部部長 牛尾 功
 〃 〃 担当 井奥眞貴子
 〃 営業推進部部長 下村 博文
 〃 〃 次長 中川 勝文
 〃 〃 次長代理 佐藤 大輔
 〃 〃 専任役 川西 基文
 〃 地域共生推進室室長 浦田 和久
 〃 〃 上席専任役 中須 雅治

【生協】

滋賀県生協連 専務理事 西山 実
 〃 事務局長 藤田 豊
 奈良県生協連 専務理事 辻 由子
 〃 事務局長 新田 和夫
 京都府生協連 専務理事 高取 淳
 〃 事務局長 酒向 直之
 和歌山県生協連 事務局長 藤井 延子
 〃 事務局担当 平松 伸
 兵庫県生協連 事務局次長 三輪 薫
 〃 事務局担当 大戸亜津子
 大阪府生協連 専務理事 中村 夏美
 〃 事務局長 小山 正人

【議題】

- (1) 開会の挨拶 近畿労働金庫 理事長 山下 博司
- (2) 近畿ろうきん事業報告
- (3) 「生協・ろうきんの相互連携」の全体状況報告
- (4) 講演「緊急災害に備える協同の力」
- (5) 各府県連生協連からの概況報告
- (6) 意見交換

7 大阪府下避難者支援団体等連絡協議会 (ホッとネットおおさか)

定例会参加報告

[日時] 2017年1月13日(金) 13時30分～16時

[場所] 大阪弁護士会館 12階1205会議室

[参加] 約15名

【概要】

- (1) 参加者紹介
- (2) 「東日本大震災にかかる県外避難者への生活基盤整備を求める要望書」の提出状況について
- (3) 各参加団体の2017年(平成29年)の予定について
- (4) ホッとネットおおさか主催「避難者交流会」の実施について
- (5) ホッとネットおおさかの今後のあり方について(意見交換)
- (6) 当事者団体からの報告
- (7) 参加団体からの報告
- (8) 事務局報告

※次回定例会 3月24日(金) 13時30分～16時

行政等

8 関西災害時物資供給協議会設立総会参加報告

[日時] 2017年1月12日(木) 14時30分～16時30分

[場所] 兵庫県公館 大会議室

【参加団体】

<物流関係事業者>

佐川急便※、ヤマト運輸※、日本通運※、朝日航洋

トラック協会(滋賀、京都、大阪※、兵庫、奈良、和歌山、徳島)

倉庫協会(滋賀、京都、大阪※、兵庫※、奈良、和歌山、徳島)

<流通事業者>

イオンリテール※、国分グローサーズチェーン、コメリ災害対策センター※、セブン-イレブンジャパン、ファミリーマート、ポプラ、ミニストップ、ローソン※、ならコープ、わかやま市民生協、とくしま生協、生協府県連(滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、大阪)

<メーカー事業者>

アサヒ飲料、エースコック、大塚食品、大塚製薬、キリンビバレッジ、コカ・コーラウェ

スト※、サントリーフーズ、総合サービス、
ダイドードリンコ、日清食品ホールディング
ス、ハウス食品グループ、ハマネツ、P & G
ジャパン※、森永乳業、山崎製パン※

＜関西広域連合及び構成府県市＞

関西広域連合、滋賀県、京都府、大阪府、兵
庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、
京都市、大阪市、堺市、神戸市

- ※印は幹事団体(社)
- 下線は当日欠席
- オブザーバー出席

福井県、三重県、陸上自衛隊、近畿運輸局、
神戸運輸管理部、近畿地方整備局、鳥取県
トラック協会、鳥取県倉庫協会、加藤産業、
日本生協連関西地連、鳥取県生協連

[次 第]

(1) あいさつ

関西広域連合長／兵庫県知事 井戸 敏三

(2) 関西災害時物資供給協議会の設立につ
いて

関西広域連合 大久保広域防災局長

(3) 説明「大規模災害時における国のプッシ
ュ型支援について」

内閣府政策統括官（防災担当）付

災害緊急事態対処担当参事官 須藤 明裕

(4) 災害時支援の取組について

① 「災害時のローソンの取組について」

② P & Gにおける災害支援の取組

③ イオングループの防災への取組について」

(5) 閉会あいさつ

関西広域連合 大久保広域防災局長

その他

◆生協くまもと 吉永理事長からのお礼のお手紙

熊本県でのたこ焼きボランティアとたこ焼き器
の寄贈に対して、生協くまもと理事長・熊本県生
協連会長理事の吉永章様から、お手紙を頂戴いた
しました。

2017年 新年講演会を開催しました

1月19日(木)、大阪市内の天王寺都ホテル「吉野の間」にて、2017年新年講演会を開催しました。今年の講演会は、「おひとりさまを支える地域づくり」をテーマに、超高齢社会の中、最後まで自分らしく生きて行く上で、大切なこと。また高齢者が生き生きと暮らせる社会づくりや、多くの組織と人が関わって高齢者を支える地域づくりなど、高齢・人口減少・単身社会が進む中、求められる地域社会や地域福祉について学び、その中で生協がどのような役割を果たすことができるのかについて考えることを目的に開催しました。

講師には、社会学者で認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク理事長、立命館大学特別招聘教授の上野千鶴子様をお招きし、「おひとりさまの最期」と題してご講演いただきました。

上野先生からは、「おひとりさまの老後（2007年）から、おひとりさまの最期（2015）の8年間で、想像を超えおひとりさまが増加」「2025年問題とは何か」「高齢者問題は都市問題」「日本人の死に場所は病院死76.6%、在宅死12.7%、施設死8.6%（2015年）」「看取り難民が急増する」「家族介護の変貌の中、独居高齢者の在宅をどう支えるか」「家にいたいはお年寄りの悲願だが、なぜ家にいられないのか」「施設での介護から、在宅を介護の場へ」「在宅ひとり死を支える地域の実践事例」「在宅ターミナルケアは可能！」「地域医療は訪問介護が主役！」「在宅ひとり死の条件」などについて、生協への期待も込め、お話いただきました。

休憩後の質疑応答では、参加者の実状からの悩みの相談もあり、講演をより深めるものとなりました。

参加者からは「最期は住み慣れたところで、自分らしく迎えたい。お金がなくても家族がなくても在宅ひとり死は可能だという言葉聞いて安心しました」「将来避けては通れない老後の話、とても参考になりました」「今の介護の実態がわかり大変考えさせられた。地域として生協として何が出来るか、何をしなければいけないか感あげていこうと思う」「在宅死よりも病院の方が良いかと思っていたのでびっくりです」「在宅で亡くなるのが普通になるための仕組み、トータルヘルスプランニングがどこに居ても可能になる社会になればと思いました」等の感想が寄せられました。



159名が参加しました



上野千鶴子先生のご講演

平成28年度大阪府消費生活協同組合 優良役職員知事表彰授与式が開催されました

平成28年度大阪府消費生活協同組合優良役職員知事表彰授与式が開催されました

2月13日(月)、大阪府の「平成28年度大阪府消費生活協同組合優良役職員知事表彰」の授与式が、ドーンセンター内の大阪府府民文化部男女参画・府民協働課の会議室にて実施されました。

今年度は、会員生協からご推薦いただいた2名と、会員外の生協から2名の合計4名の方が授賞されました。

各受賞者の功績に敬意を表しますとともに、皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

【会員生協の受賞者】

大阪いずみ市民生協 佐々木 潔 様

大阪いずみ市民生協 花井 龍二 様



後列左より 惣宇利会長理事（大阪府生協連）、長澤課長（大阪府男女参画・府民協働課）
前列左より 佐々木様、花井様、岡本部長（大阪府府民文化部）、大阪府民共済の受賞者2名

佐々木 潔

大阪いずみ市民生活協同組合

勤続：32年

現職：宅配運営部エネルギー通信営業グループ（八尾）

1987年1月10日入協後、宅配事業部門に配属され、三国ヶ丘・福田支所で班担当として経験を重ね、1990年7月より、泉ヶ丘支所副支所長、1992年4月より福田支所長、1994年8月より松原支所長を歴任した。その後、理事会事務局を経て、店舗事業部門、商品部門で貢献した。2004年4月より宅配部門に配属され、組合員活動事務局、組合員拡大営業リーダーを歴任。2006年7月から子会社のコンシェルジュ運輸部の立ち上げに貢献した。2008年3月より宅配事業部門の営業リーダーを務め、2015年12月からは電気小売事業立ち上げに尽力し現在に至る。

大阪いずみ市民生活協
佐々木 潔 様

●ご本人からのコメント

今回このような賞を頂き、有難うございます。嬉しくもありまた恐縮もしております。自分1人で頂けたとは思っておりませんし、周りの方々の協力があって頂いた賞だと思っております。

生協に入って30数年が経ちましたが、決して人様に自慢できるような事はありません。ただ、自分の仕事は、決して派手ではなく、地道な活動かもしれませんが、人のために役立つ事だと思ってやってきた自負はあります。生協だからこそできた活動は、私の財産であり今後の人生に大きな影響があると思います。今日を人生区切りとして、また心新たに、精進していきます。本当に有難うございました。

花井 龍二

大阪いずみ市民生活協同組合

勤続：31年8ヶ月

現職：店舗事業部営業サポートグループ

1985年4月2日入協後、宅配事業部門に配属され、久宝寺支所、志紀支所で班担当として経験を重ね、1991年6月より縄手支所長、1993年7月より府中支所副支所長、泉大津支所副支所長を歴任した。その後、1995年4月組合員仲間づくりスタッフ、1996年10月より商品部品質管理部門の勤務を経て、2000年4月からは個配事業の立ち上げに尽力する。その後2001年4月より物流に従事し、現在の店舗物流の構築に大きく貢献した。現在も店舗の出店に伴い、店舗物流の様々な改革をすすめている。

大阪いずみ市民生活協
花井 龍二 様

●ご本人からのコメント

知事表彰をいただきありがとうございます。

1985年に入協し、宅配部門の支所長副支所長を経験し、その後、運営本部勤務となり1995年に阪神淡路大震災が発生しました。この時救援物資の運搬リーダーとして数度現地入りしました。何処の避難所も大人ではなく、高校生～大学生2-3人が避難所受け入れリーダーとして必要な支援物資を分け、的確に必要な物資を依頼してくることに感心しました。又、支援物資として下痢止めの正露丸の依頼があり、休日夜間に正露丸工場に受取りに行くこと社長の娘さん、息子さんが汗だくでトラックに積み込み応援してくれ、日本の「若者」の素晴らしさに触れる事ができました。

翌年の1996年に堺市でO-157食中毒事件が発生しました。

対策本部担当となり、1万人発症した小学生の多くが組合員さんのお子さんであり、堺市、医療機関、検査センターと連携しながらホットベルを設置しました。当時のアメリカのデータでは発症者の15%が死亡しており過緊張から胃潰瘍を発症しながらの厳しい電話対応でした。「子供にかいわれを食べさせてしまいました」と泣き叫びながらの電話が今でも忘れられません。テレビの誤報が原因ですが、「食の安全性」に対する購買生協の期待が高まるきっかけになった事件だったと思います。

その後、物流部門に異動となり3つの物流センターを設計することになり、新しい物流備品の開発や、物流施設の品温管理、品質管理の向上に努めることができ、微力ながらも生協の発展に貢献できる機会をいただけ感謝しています。

現在は、残り短い期間ですがいずみの店舗の発展に貢献できればと考えています。

サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

子どものころから描いていた私の将来の夢は、医療分野で人の役に立つことでした。そのため高校生時の文理選択では迷わず理系コースを選びました。学年の中で30人ほどが理系に進み、そのほとんどが男子で女子はたったの3人でした。30年ほど前のことなので、理系をめざす女子が少なかったです。今でこそ”リケジョ”と呼ばれたりし、注目を浴びることが多くありますね。同級生の多くが医療従事者となり、同窓会ではチーム医療発足というのが笑い話のように言われました。

やりたいと願って進んだ医療分野では、検査という裏側の仕事ですが、患者さんの大切な体の一部を検体として採取し、それを慎重に採り扱います。病気の早期発見や進行具合を調べ、診断や治療につなげる役割で、とてもやりがいを感じ頑張ろうとしていました。女性が多く働く職場でしたので、結婚や出産をへても制度を利用して復職される先輩方が多くおられました。しかし、私は勤続3年弱で出産退職という道を選びました。周りからは資格があるのにもったいないとよく言われ、少し休んでからまた続けたらと声を掛けてもらいました。どの声にも、ごもっともごもっともと耳を傾けながら、私なりに仕事と育児、家事の両立の難しさ、どれも中途半端になるんじゃないかとイメージした結果のことです。今しかできない子育てに、今じっくり心のゆとりを持って関われる時間を大切に楽しみたいと考えました。

子育て中心の生活になって、私も子どもと一緒に親として成長しました。地域の中で子どもとの関わりに積極的に飛び込んだことで、新たな大人のつながりができました。生協活動も利用する立場だけでない、活動を支える側で何かお役に立てばと思い、始めたのもこの時期でした。ご縁をいただき府連のジェンダー協議会に参加して2年弱、他団体の方々との出会いや多様な社会の実現など学ぶものが多くあり、充実した活動を送ることができました。本当にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

常に、これでよいのか、あれでよかったのかと悩みながらも、その時々を立ち止まり、ぶれずに自分なりの答えを見つけてきて、今の私があります。6月で組合員理事を退任しますが、私のこれからは振り出しに戻り、再び医療分野の仕事でお役に立つことです。医療は日々進歩しています。今までなかった検査法、最新技術が予防医療へつながります。また女性に視点をおいた分野で、女性技師が多く求められていると聞きます。例えば、乳がん検診など女性技師だからこそ見せられるプライベートゾーンや心の内など。女性活躍推進法が施行された今年は女性の活躍を後押しする機運がますます高まっています。どのような年齢層であっても働く女性がより輝く社会となるように環境の整備に期待したいです。そして、人とのつながりの中で自分を引き上げてもらう、やりたいと思ったこととやるべきことが一致し、自分を必要としてくれる場所で与えられた仕事はなんでもやっていきたいです。ブランクなんてへっちゃら。希望を持って生涯チャレンジしつづけながら、大勢の人を笑顔にできるいろんな生き方をする女性を、これからも応援したいです。

元気でね、幸せにね、笑顔でね、想いをこめて。

大阪いずみ市民生活協同組合
理事 吉村ひろみ

スケジュール

4月

- 6日 関西地連第5回運営委員会
- 6日 日本生協連・コープ共済連近畿地区総会議案検討会議
- 12日 第2回生協大会実行委員会
- 17日 会報 No328発行
- 20日 第4回組織活動委員会

5月

- 11日 第7回理事会

6月

- 16日 日本生協連第67回通常総会
- 22日 第8回理事会・第56回通常総会